

回覧

村上市生涯学習推進センター 発行

マナボーテ村上

2015年 7月号

今月号の話題

- ◆ 山北放課後子ども教室（山北）
- ◆ 筆ペン・ボールペン教室（荒川）
- ◆ 健民少年団お寺生活体験（村上）
- ◆ 俳句教室（神林）
- ◆ 親子でおりがみ講座（中央）
- ◆ 地区公民館長リレーコラム（中央）
- ◆ サークル紹介（山北）
- ◆ イベント告知 7月・8月の予定

山北で放課後子ども教室スタート 地域の子どもたちへ

村上市では、地域に愛着をもち地域で活躍できる子どもを地域全体で育てる「郷育」を進めています。各地区公民館では、学校・家庭・地域の連携事業として、放課後子ども教室を実施しています。

平成27年度は、さんぼく南小学校で新たに放課後子ども教室を立ち上げ、地域のみな

まずはみんなで宿題をします



さんが子ども達に体験活動などを教えてください。学校が終わると、学校内にある和室で宿題をし、3時15分から地域の皆さんと活動します。6月19日（金）は、大滝慶子さんの昔語りと、斎藤志津子さんの絵本の読み聞かせをしました。この他に、ものづくりやスポーツなど様々な体験活動をしています。

参加している子ども達は9人と少数です



絵本をみんなで楽しみました。
囲みは昔かたりの大滝さん

が、アットホームな雰囲気の中で楽しい一時を過ごしました。

活動終了後は、4時20分ころスクールバスを活用し、自宅へ帰ります。

コーディネーターを務める五十嵐紀子さんは、「子どもたちが、元気で笑顔になれる場所にしたい」と放課後子ども教室への思いを話していました。



帰りはスクールバスで帰ります

心へ届く「美文字」

～筆ペン・ボールペン教室～

6月6日（土）から荒川地区公民館において、筆ペン・ボールペン教室が始まりました。普段から使うことが多い筆ペンとボールペンですが、それぞれの持ち方・文字を書くときの姿勢など基本的なところから学び、筆ペン・ボールペンの特性を理解して、「つなげたい、心のたより」となる手紙やはがき、冠婚葬祭ののし袋の書き方など日常生活に活かしていけるよう学習していきます。

「美文字」を目指して真剣に学習



座禅で集中

～健少でお寺生活体験～

村上市健民少年団の村上・岩船・瀬波・上海府の4地区隊合同で、6月20日（土）・21日（日）に瀬波地区にある善福寺で「お寺生活体験」を実施しました。

瀬波地区隊を中心に長年続いている毎年恒例の活動で、日ごろ体験できないお寺での生



座禅でしっかり精神集中

活を体験ができるとあり、58人の大人数での活動となりました。

座禅で静かに精神集中したり、本堂にみんな寝袋で寝るなどの貴重な体験をすることができました。

また、市青少年健全育成センターの山田久美子指導員から「こころってどこにあるんだ



山田指導員の「こころの話

ろう」と題し、自分の心も相手の心も大切にすることなど、子どもの人権意識を高める講話をしていただきました。

夜は、花火やビンゴ大会をして楽しい一泊二日の活動となりました。参加した団員からは「座禅は大変だったけど貴重な体験ができてよかったです」と感想が寄せられました。

募集

陶芸教室

オリジナルの焼き物を作ってみませんか

とき 8月9日（日）9月13日（日）午後1時～3時

ところ 神林地区公民館（神林農村環境改善センター）

講師 陶房やまや 鈴木 和弘 氏

定員 15人（先着順）

参加費 1,000円（材料費）

持ち物 汚れてもよい服装、タオル、新聞紙

申込み 7月24日（金）までに神林地区公民館60-1500へまたはNPO法人希楽々66-8119

夏休み自由研究相談会 in あさひ

自由研究のテーマや進め方などを個別に指導します。

とき 7月28日（火）午前9時～12時

ところ 総合文化会館

講師 市理科教育センター所員

対象 小学校4年生～6年生

参加費無料で申込み不要です。直接会場へどうぞ

問合せ先 総合文化会館 72-6700

蒼空俳句会と連携 地域の文化を守りたい

神林地区公民館では、5～7月の第1・3木曜日に俳句教室を開催しています。

俳句教室は、神林地区文化協会に所属している蒼空俳句会と連携し、教室を開催してい

守り続けたい俳句の文化活動



ます。今回、神林地区文化協会と連携した理由として、高齢化・過疎化で後継者がいなくなっていることから、神林地区文化協会の団体会員数の減少に歯止めをかけ、地域の文化を守り、元気にしていかなければいけないという思いがあり俳句教室を開催しました。

講師は、蒼空俳句会の顧問でもある大嶋秋峰先生にお願いし、分かりやすく楽しく教えていただいています。受講生からは、「ボケ防止になりよい」「教室の雰囲気や和やかで、毎回楽しみです」「俳句も人それぞれで見方も面白いです」などの感想が寄せられています。仲間づくり・俳句づくりのきっかけや、地域の文化の発展に繋がることを期待しています。

親子で七夕のおりがみ 青陵大学と連携講座



七夕のおりがみを親子で作りました

中央公民館では、6月6日（土）に新潟青陵大学と連携した家庭教育講座「親子で作る七夕のおりがみ」を開催しました。

講師の新潟青陵大学短期大学部の梨本竜子准教授から「おりひめ」や「ひこぼし」など七夕に合わせたおりがみを楽しく教えていただきました。

また、後半は「作って遊べるおりがみ」を教えていただき、実際に遊びながら楽しみました。参加者からは、「昔ながらのおりがみではなく、子どものことを考えたおり方がわかってとても勉強になりました」「作った後に遊べるおりがみがとても良かったです」などの感想が寄せられました。

7月26日（日）には、青陵大学との連携講座として「楽器を作って親子でアンサンブル」と題し、音楽をテーマにした講座を予定しています。

絵本作家「あきびんご」さんおはなし会&絵をかこう

～だれでも動物が上手に描ける～

村上市に絵本作家あきびんごさんがやってきます。本人に出会える貴重な機会です。絵の描き方も教えてくれます。ぜひご参加ください。

- 日時 8月2日（日）午後1時15分から午後3時
- 会場 マナボーテ村上（村上生涯学習推進センター）
- 内容 動物を描こう、絵本の読み聞かせ、絵本の作り方
- 持ち物 絵を描くためのフェルトペン
- 定員 50人 参加費 無料
- 申込み 7月31日（金）まで中央公民館（53-5111）へ



「井の中の蛙」は、どこの誰？

「井の中の蛙大海を知らず」の意味は、「小さな井戸の中に住む蛙は、大きな海があることを知らない」とか、「知識や見聞が狭い」、また、「広い世界があることに気づかず、得意になっている人のこと」などと、批判的な場合に使われる。語源について図書館の児童書に次のような内容が書かれていた。

「中国の『莊子』^{せうし}と言う古い書物に収められている例え話から

『井の中の蛙大海を知らず』が、^{ことわざ}諺として広まった。『井』

は、井戸だと思っている人が多い。諺の意味から言えば、『せ

まい井戸の中』としたほうが面白いことは確かだが、調べたら

『井』の読みは『せい』で、『きちんと、整った様子』を表す

字で、中国では『水田』のことだった。それを井戸の『井』に

使ったのは、水の汲み上げ口が『井』^{いげた}になっていたからかも。

田んぼでも井戸でも、石を投げ入れたらドンブリと聞こえる。

そこから『井』^{いげた}という字が作り出された。『井』の中の点

は、石を表している」児童書なので、とてもわかりやすく書いて

ある。村上市内でも、井の井戸を探するのは、大変な時代か

も知れない。今まで知らなかったり、知識が違っていたり、目

から鱗のような体験をすることが良くある。私達が知っている

ことは、意外と少ないものだ。いつまでたつても「井の中の

蛙」は、自分自身の事なのかも知れないが、ささやかな学習を

サークル紹介

山北「英語クラブ」です

毎週火曜日の夜7時30分から、ALTの先生と一緒にさんぽく会館で学習しています。メンバーは小学生・30代から70代まで幅広い年齢層です。クラブが始まると、週末の出来事などを一人ずつ英語で発表します。先生や他の方のスピーチを聞くこともとても勉強になります。それから、ゲームをしたり、アメリカの文化や歴史を学んでいます。先生が用意してくれるゲームはどれも楽しいものばかりで、毎回大盛り上がりです。最近では、先生の家族や友達が山北に遊びに来ていたのでクラブに招待しま



した。普段の学習を活かして、聞いてみたいことを英語で質問できる絶好の機会になりました。英語に興味のある方や生の英語に触れてみたい方、一緒に活動しませんか？

サークル紹介は、各地区公民館で活動している趣味や教養のクラブ・サークルを紹介するコーナーです。紙面に掲載希望のサークルは各地区公民館へお問合せください。

7月・8月の予定

- 7月25日(土) ドクターフキコのコーチング講座
- 7月26日(日) 楽器を作って親子でアンサンブル
- 7月28日(火) 夏休み自由研究相談会
- 8月6日(木) 学校と地域をつなぐオープンセッション
- 8月9日(日) 陶芸教室

広報誌「マナビーテ村上」の問合せ先

村上市生涯学習課

社会教育推進室・中央公民館

TEL 53-5111

FAX 53-2977

e-mail manabi@city.murakami.lg.jp